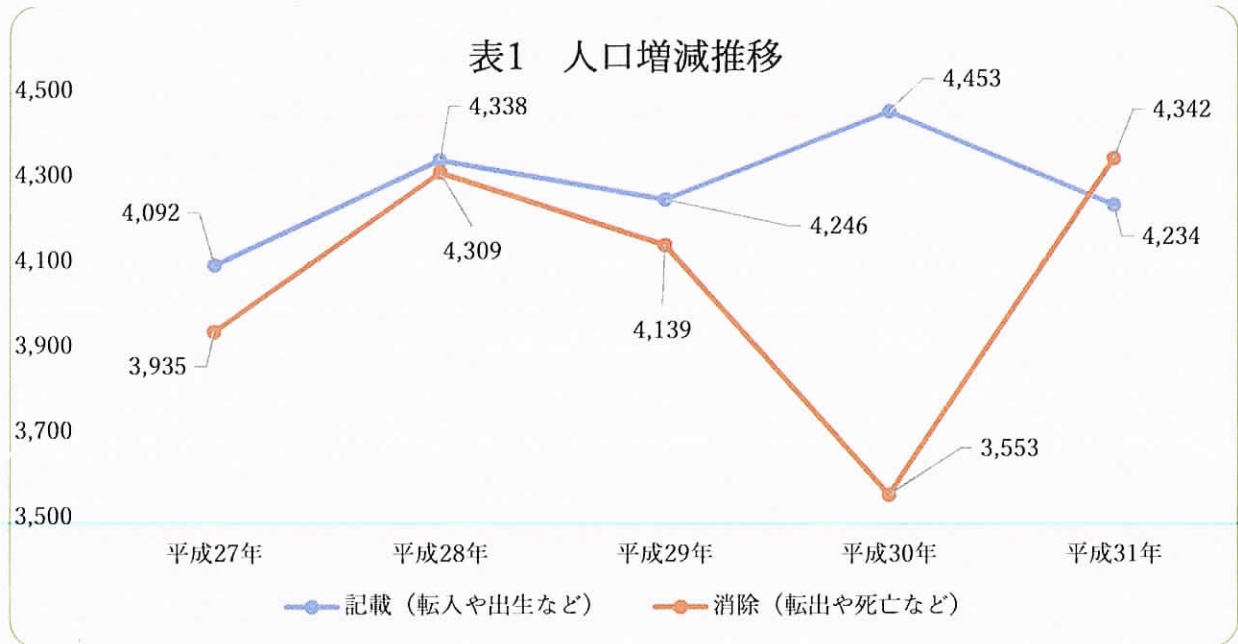


平成31年人口減少の要因について

1 平成31年人口減少

過去5年間の人口増減を調査（表1）し、平成31年で初めて人口が108人減少となりました。（表2）



| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 158 | 29 | 107 | 900 | △108 |

(1) 転入者数と転出者数の人口推移

転入者数と転出者数の人口推移では、平成30年と平成31年を比較すると、転入者数は3,700人で前年度比158人減、転出者数は3,134人で348人減となっています。

(表3)

転入者数と転出者数の差引表（表4）で見ると、平成27年から平成28年で人口が358人増加し、平成29年で減少した後、少しずつ転入者が増加しており、平成30年と平成31年では190人増加しているため、平成31年の人口減少の直接的な要因は、転出者数の増加ではないと考えられます。

さらに、転入者数と転出者数について、男女別、年代別に分けて調査しました。

① 20.27 284人 ② 584人 642人 525人 313人
 ③ 20.29 721人 ④ 471人 1,122人 1,541人 2,251人
 (20.27) (29.29) (30.27) (35.907) 社会増(社会)

表3 転入者数と転出者数の推移

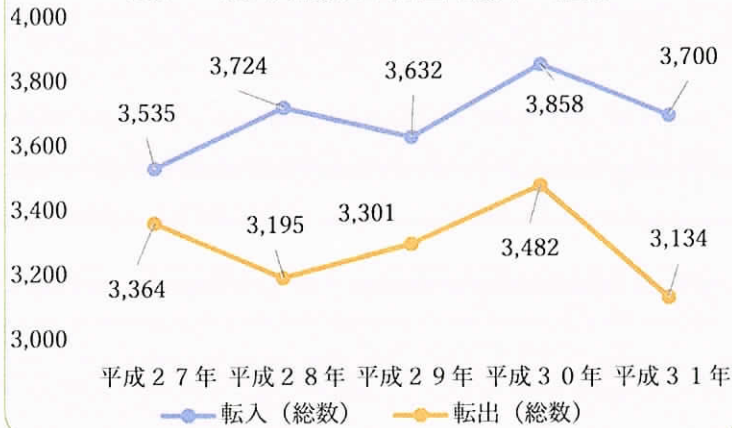
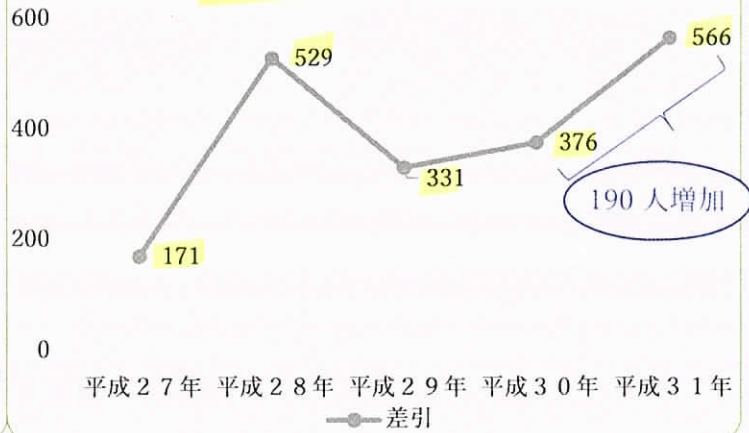


表4 転入者数と転出者数の差引表



① 転入者数の推移について

年齢別では、最も転入が多い年代は25歳～29歳となっています。(表5)
 転入者数の推移について、男女別では大きな変動は見られません。(表6)

表5 年齢別転入者数推移

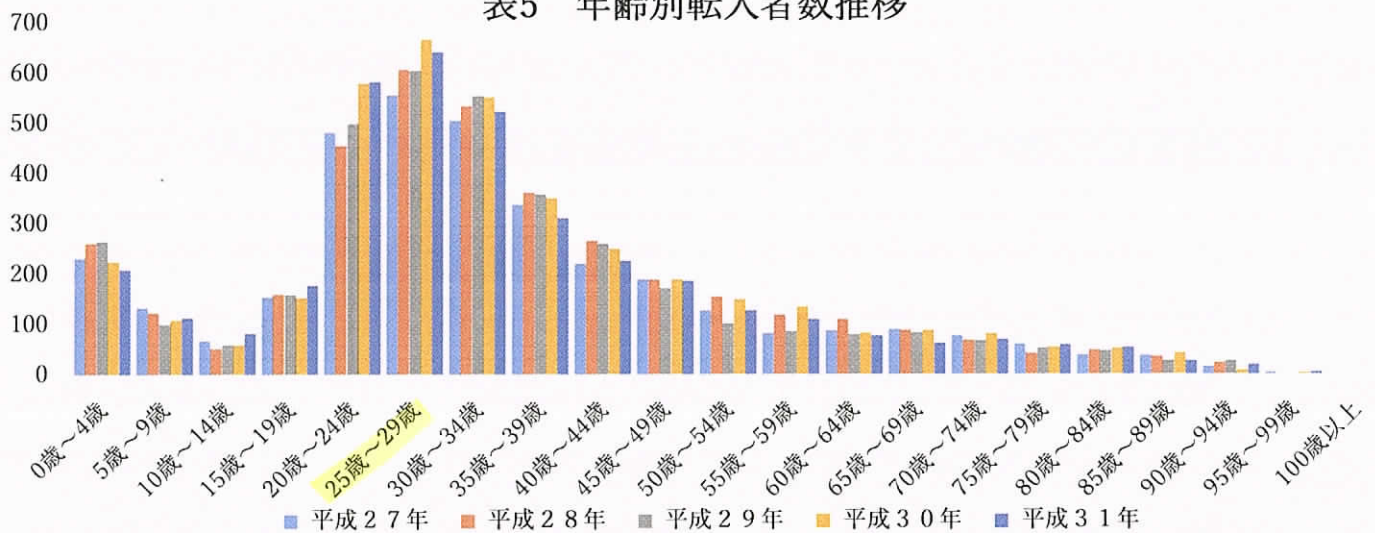


表6 転入者数(男女別)

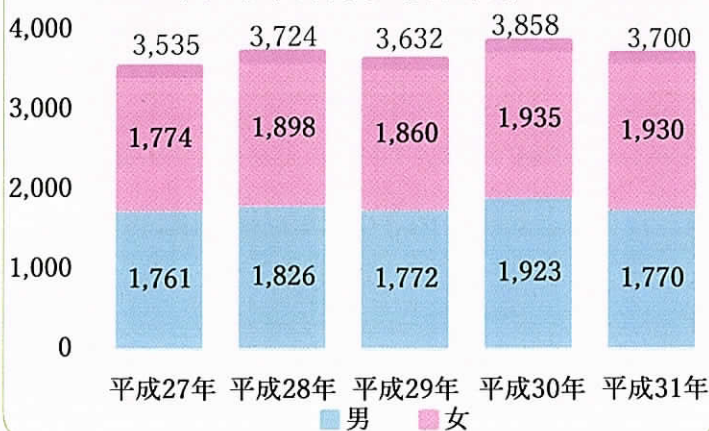
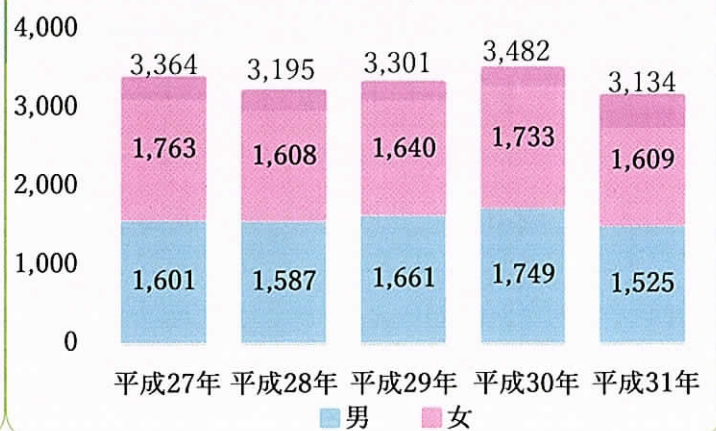


表7 転出者数(男女別)

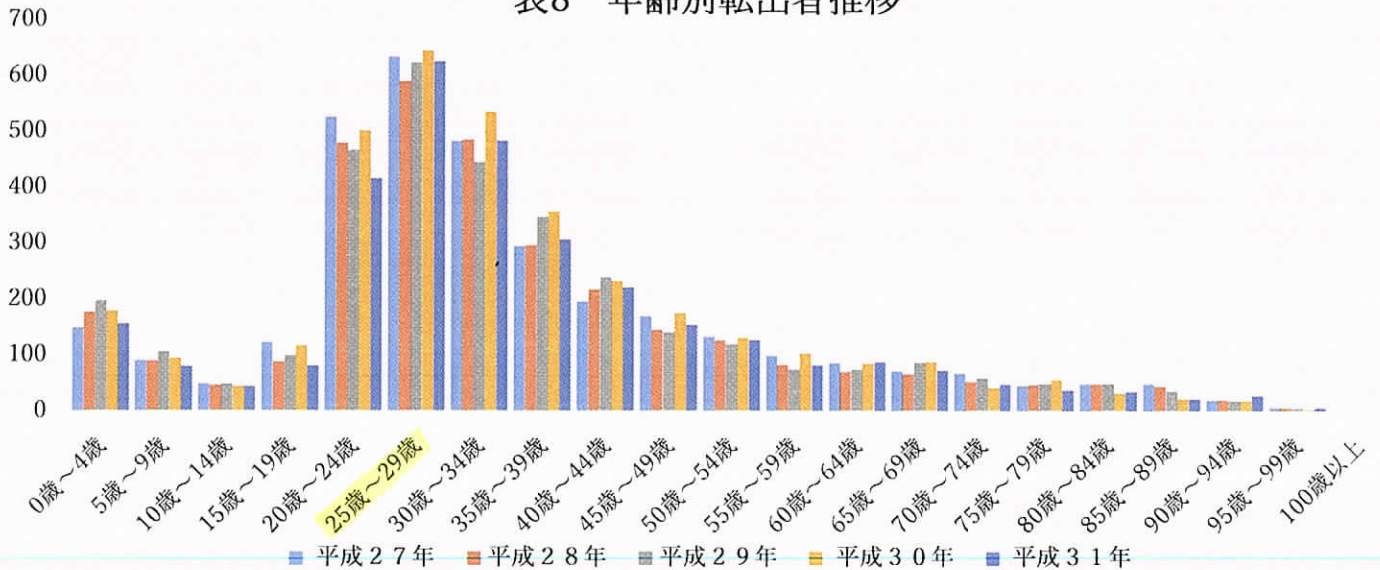


② 転出者数の推移について

転入者数と同じく、男女別での大きな変動は見られません。(表7)

また、年齢別も最も転出が多い年代は25歳～29歳となっており転入者数の調査結果と同じです。(表8)

表8 年齢別転出者推移



(2) 出生者数と死亡者数による人口推移について

死亡者数は年々増加傾向にあり、出生者数は減少傾向となっています。(表9)

また、出生者数と死亡者数の人口増減を差し引きすると、毎年人口減少しており、特に平成29年からの減少は著しく、平成29年と平成30年では98人減少、平成30年と平成31年では66人減少し2年間で164人減少しています。(表10)

さらに、出生者数と死亡者数について、男女別、年代別に分けて調査しました。

表9 出生者数と死亡者数の推移

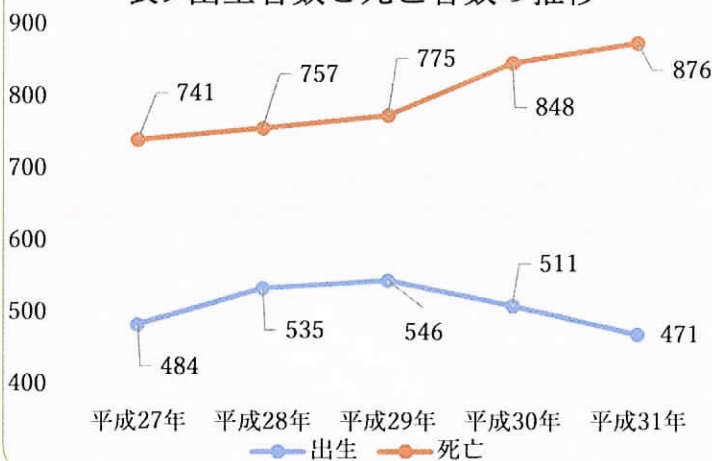
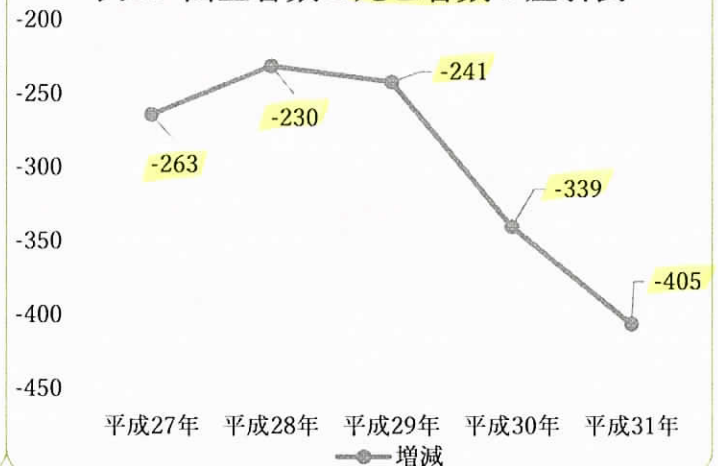


表10 出生者数と死亡者数の差引表

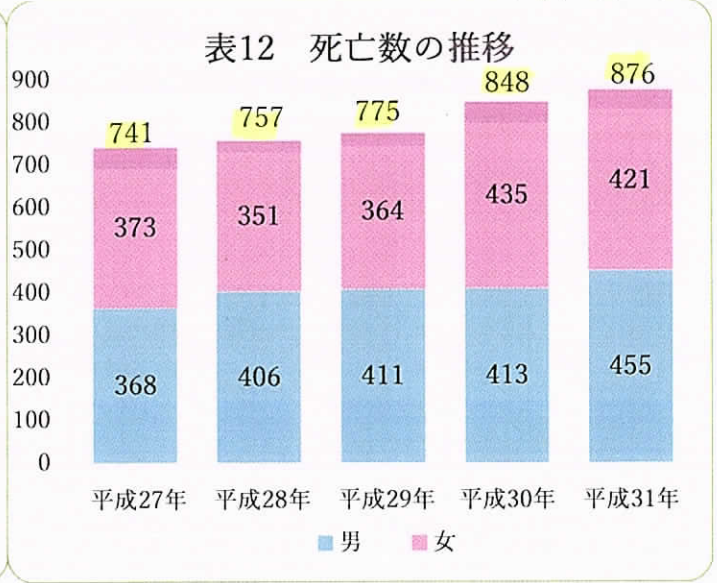
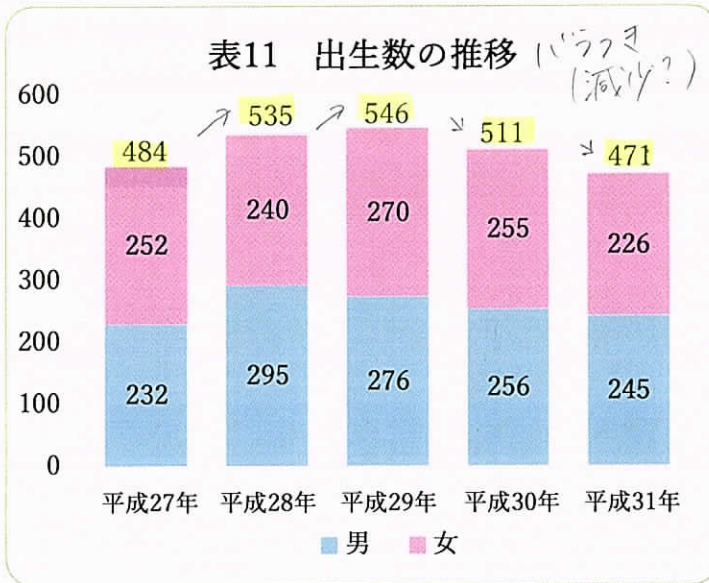


自然減(純減)

① 出生者数の推移について

平成29年までは増加していたものの、平成29年から減少しています。男女別に見ると、男性は平成28年から、女性は平成30年から年々減少しており、全体的には男女ともに減少傾向になっています。(表11)

増加傾向



② 死亡者数の推移について

年齢別の死亡者数の推移を調査したところ、全体的に増加傾向となっており、男女別では平成30年を除き女性より男性の死亡者数が多くなっています。(表12)

また、一番死亡者の多い年齢は平成30年より80歳～84歳から85歳～89歳(表13、14)へ移行しています。

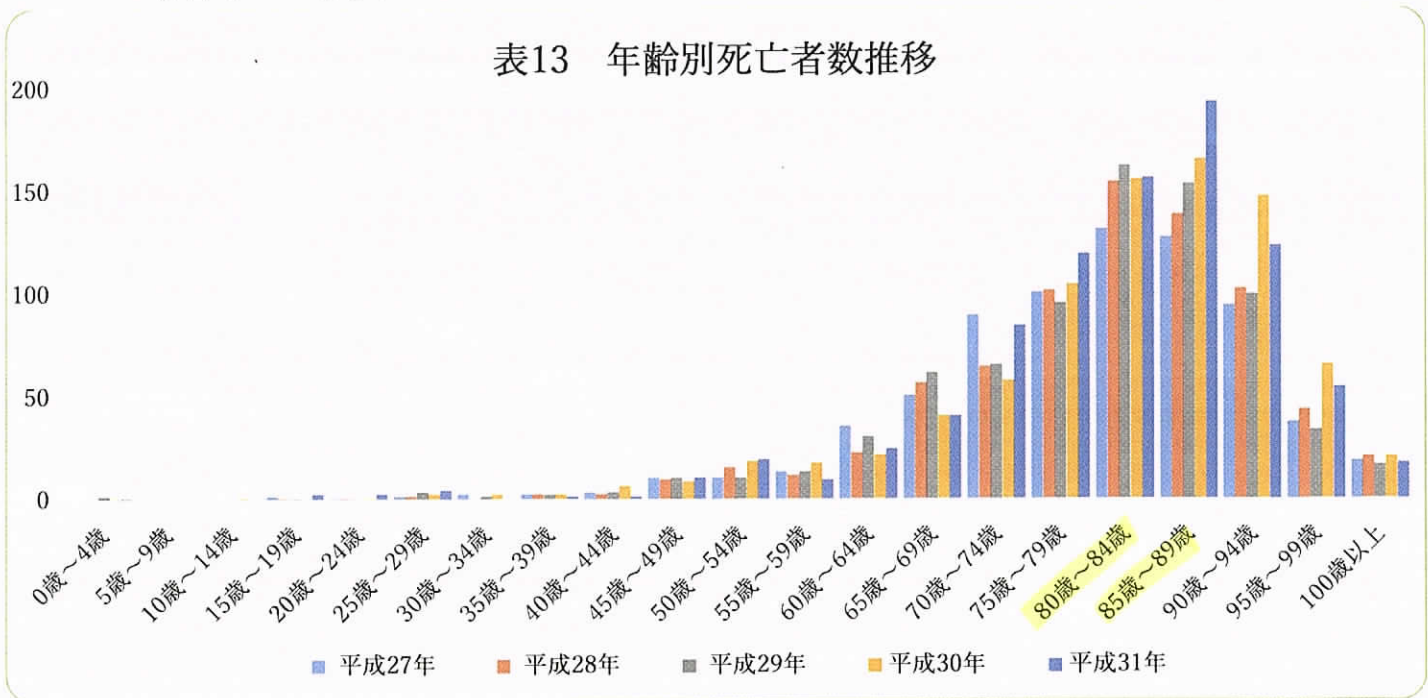


表 14 平成 27 年から平成 31 年の死亡者数推移（太字はその年の最多死亡者数の年代）

| | 平成 27 年 | 平成 28 年 | 平成 29 年 | 平成 30 年 | 平成 31 年 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総 数 | 741 | 757 | 775 | 848 | 876 |
| 0 歳～4 歳 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| 5 歳～9 歳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 歳～14 歳 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 15 歳～19 歳 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 20 歳～24 歳 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 25 歳～29 歳 | 2 | 2 | 4 | 3 | 5 |
| 30 歳～34 歳 | 3 | 0 | 2 | 3 | 0 |
| 35 歳～39 歳 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 40 歳～44 歳 | 4 | 3 | 4 | 7 | 2 |
| 45 歳～49 歳 | 11 | 10 | 11 | 9 | 11 |
| 50 歳～54 歳 | 11 | 16 | 11 | 19 | 20 |
| 55 歳～59 歳 | 14 | 12 | 14 | 18 | 10 |
| 60 歳～64 歳 | 36 | 23 | 31 | 22 | 25 |
| 65 歳～69 歳 | 51 | 57 | 62 | 41 | 41 |
| 70 歳～74 歳 | 90 | 65 | 66 | 58 | 85 |
| 75 歳～79 歳 | 101 | 102 | 96 | 105 | 120 |
| 80 歳～84 歳 | 132 | 155 | 163 | 156 | 157 |
| 85 歳～89 歳 | 128 | 139 | 154 | 166 | 194 |
| 90 歳～94 歳 | 95 | 103 | 100 | 148 | 124 |
| 95 歳～99 歳 | 38 | 44 | 34 | 66 | 55 |
| 100 歳以上 | 19 | 21 | 17 | 21 | 18 |

2 清瀬市の人口ピラミッド

(1) 平成 31 年と、平成 27 年（5 年前）、平成 17 年（15 年前）と人口ピラミッドを作成し調査をしました。（表 15～17）

人口ピラミッドの形状を見ると、出生数が徐々に少なくなっており高齢者が増加しているため、『少子高齢化』への移行していることがわかります。

また、人口ピラミッドの中へ日本の人口推移に影響した出来事（①～⑤）について示し、⑤の世代の年齢が上がり年々逆三角形に近づいていることがわかります。

- ① 昭和 14 年日中戦争出生減
- ② 昭和 22 年～24 年第 1 次ベビーブーム（団塊の世代）出生増
- ③ 昭和 25 年～26 年太平洋戦争出生減
- ④ 昭和 41 年^{ひのえうま}丙午出生減
- ⑤ 昭和 46 年～49 年第 2 次ベビーブーム（団塊ジュニア）出生増

表 15 平成 31 年人口ピラミッド

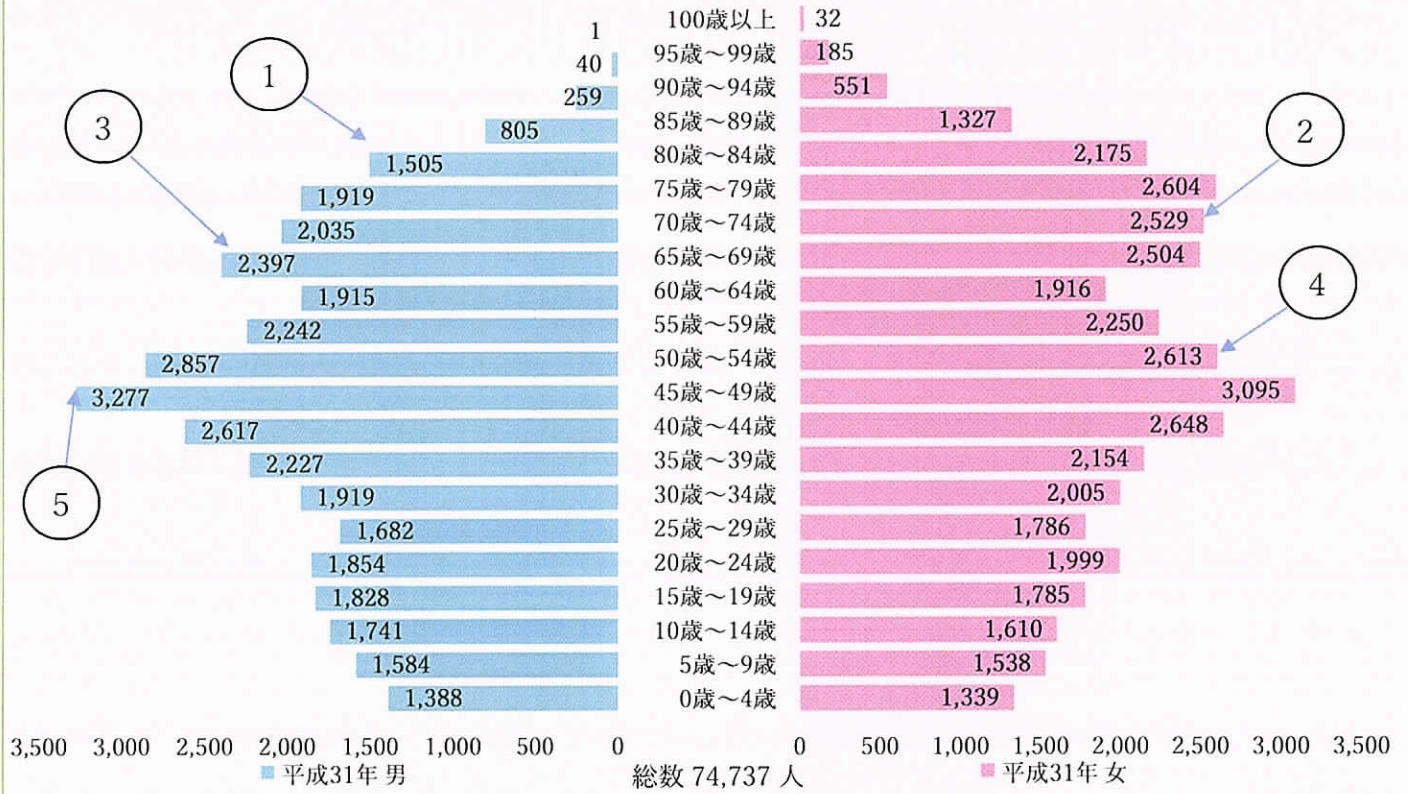


表 16 平成 27 年人口ピラミッド

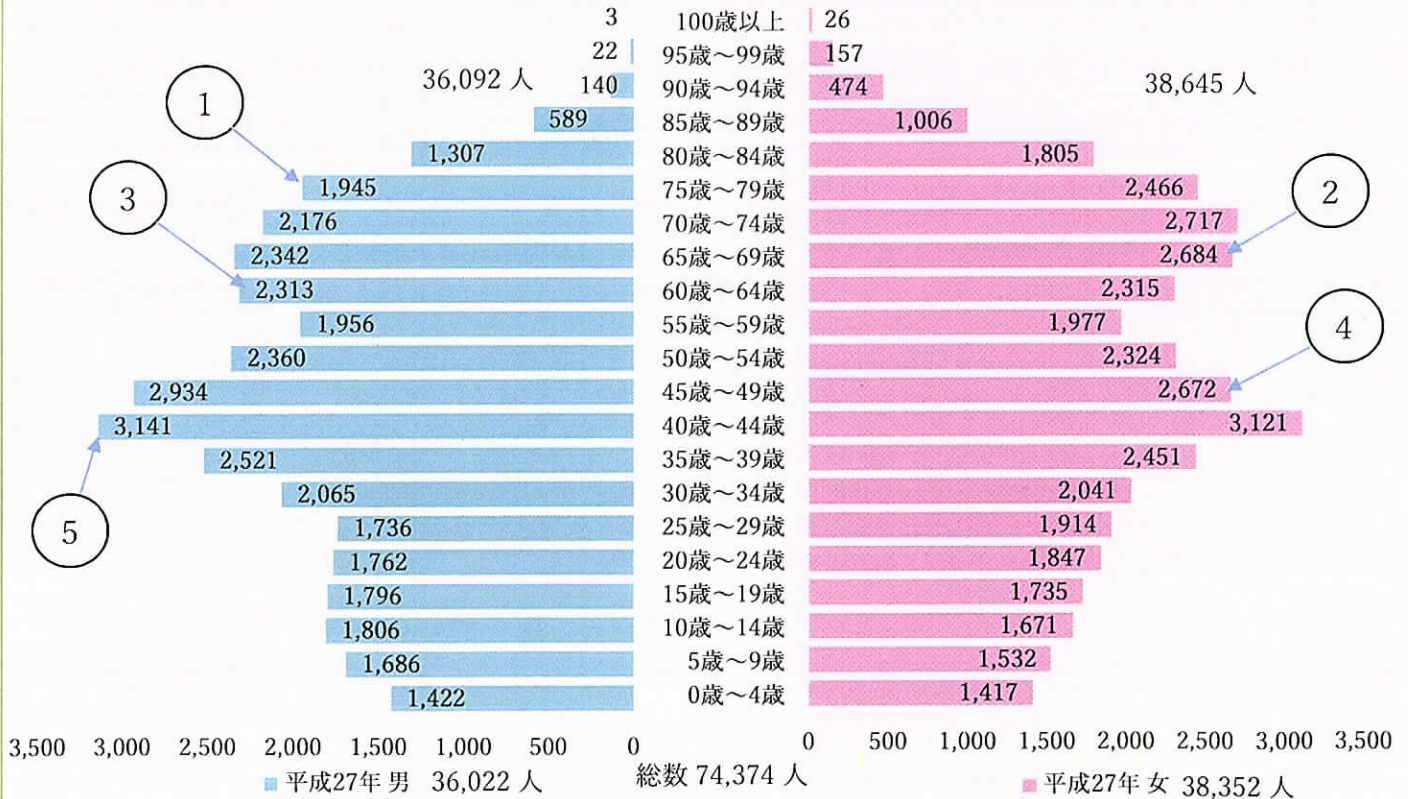
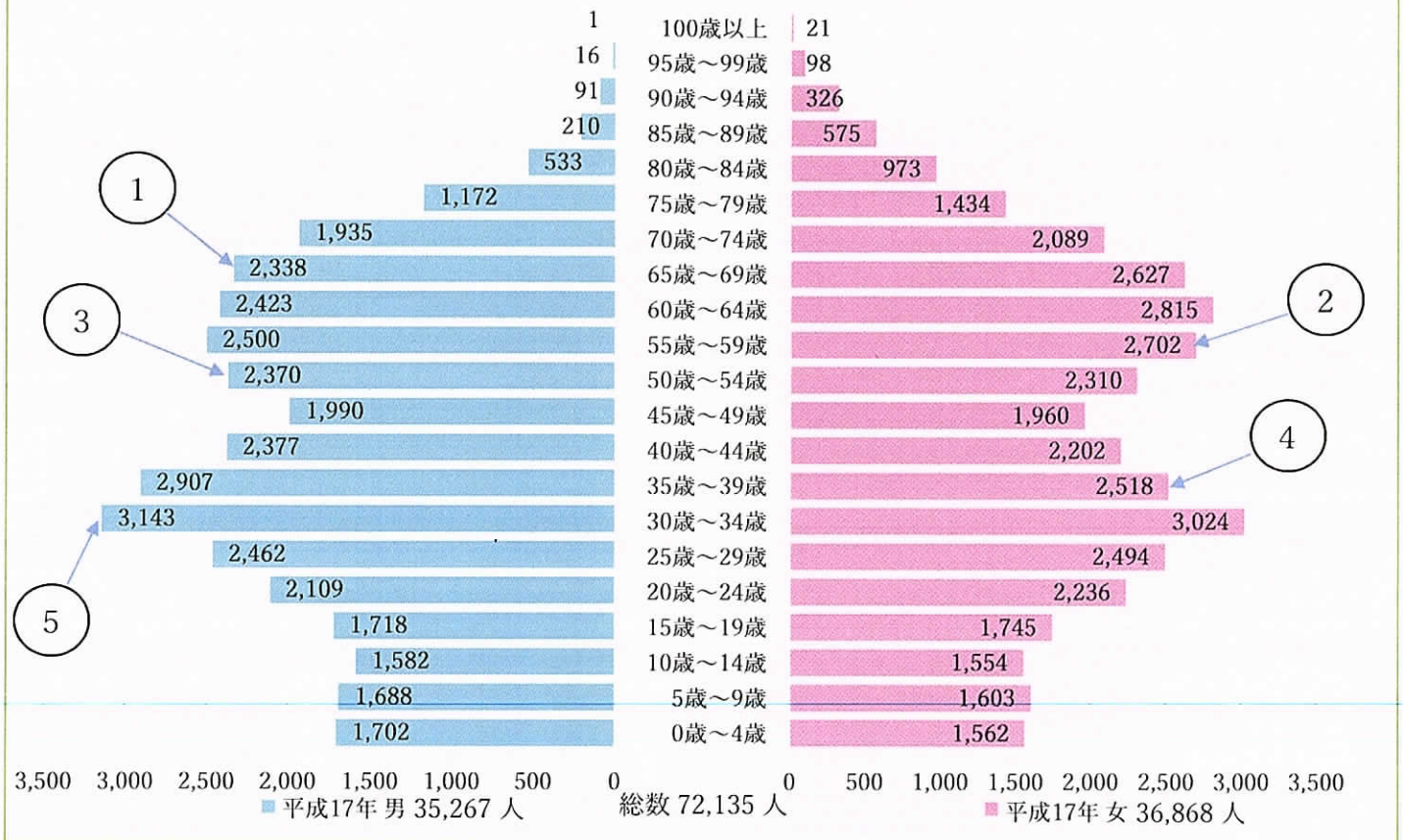


表 17 平成 17 年人口ピラミッド



3 まとめ

転入者数と転出者数、出生者数と死亡者数を調査した結果、転入者数と転出者の推移については調査年によって大きな変化はなく、転出者より転入者の方が平成 29 年以降増加傾向にあり平成 30 年から平成 31 年では転入者数が 190 人上回っていたため、人口減少の直接的な要因とは考え難いと思います。

出生者数と死亡者数については、人口ピラミッドでも確認ができるように、清瀬市全体の年齢層が上がっており、少子高齢化により出生者数が減少し、死亡者数が増加していることにより差し引きをすると毎年人口が減少していることが分かり、平成 30 年と平成 31 年では 66 人減少していることがわかりました。

その他、記載（帰化等）や削除（実態調査による職権消除等）がありますが、これらは一般的な増減ではありませんので直接的な要因としては考えにくいと思われます。

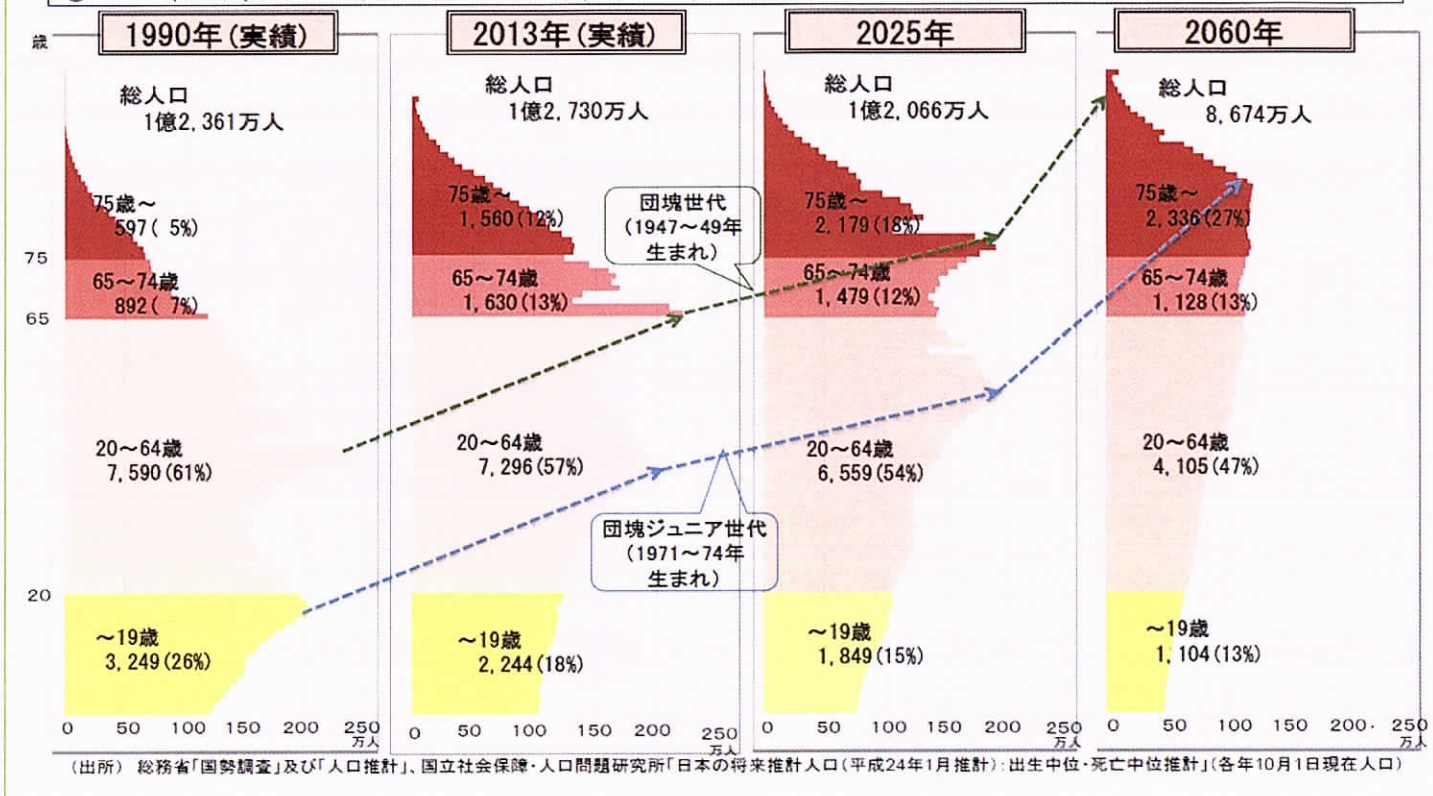
以上のことから、平成 30 年から平成 31 年での 108 人の人口減少は、少子高齢化による出生者数の減少と死亡者数の増加が主な要因であると考えられます。

国保に加入
 → 国保
 (厚生、労働省)

【参考】

日本の人口ピラミッドの推移

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
 ○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。



〔引用〕

- ① 清瀬市システムデータ (表1～表17)
- ② 総務省ホームページデータ 【参考】